

2022/
1・2月号

湖国が滋る・水と緑の街づくり

令和4年1月1日発行 通巻302号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行／公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・年頭所感 2
- ・女性委員会 4
 DoシリーズNo.83 ～滋賀を知る～
 考古学研究者と宗教都市坂本の町を歩く
- ・女性委員会
 女性委員会主催 全員会議 開催のご案内
- ・まちづくり委員会
 第13回「未来の家」「未来のまち」子ども立体
 作品展・第15回「建築士」フェスティバル開催
 のお知らせ
- ・まちづくり委員会 5
 「けんせつフェスタしが」事業報告
 第63回建築士会全国大会「広島大会」報告
- ・女性委員会
 DoシリーズNo.82 ～素を知る～
 『信楽生コン(株)工場見学生コンクリートが
 できるまで』事業報告
 近畿建築士会協議会女性部会（近建女）
 第6回くらしとすまいをみつめる 継続セミナー
 『すまいの温熱環境について学ぶ』
 ～快適な温熱環境ってなんですか?～ 報告
- ・青年委員会 交流拡大事業 6
 伊吹山登山事業報告
- ・青年委員会
 近建青滋賀会議 開催報告
- ・青年委員会 研修拡大事業
 岐阜建築バスツアー報告
- ・青年委員会
 滋賀青年アーカイブス公開しました
- ・祝 山本良信副会長 7
 国土交通大臣表彰 受賞報告
- ・地区だより
- ・地区だより 8
 令和3年度に総合資格よりご入会頂いた皆様へ
 地区別会員数
 情報広報委員会
 2022年度フォトコンテスト作品募集
- ・1月、2月の暦



地区の名所探訪シリーズ 第10回 「白鬚神社・湖中大鳥居」高島市鶴川

年のはじめに

公益社団法人 滋賀県建築士会

会長 山本 勝義



唐突で、また、実に私事で恐縮ですが、我が家のお仏壇をお洗濯に出すことを決意し、生まれて初めて、お仏壇を拝めない正月を迎えました。

仏壇屋さんに預けるにあたり、お仏壇の引き出しを全て出してみましたら、江戸、明治、大正、昭和初期の日付の入ったご朱印や護符がたくさん出てきました。

そこに書かれていた祈願は、「先祖供養」「家内安全」「子孫繁栄」。

御先祖様は、さらにまだ先の先祖に感謝し、家族の健康を願い、まだ見ぬ我々子孫の幸せを、ただひたすらに祈っておられたことが、茶色く変色した護符から伝わってきて、胸に迫るものがありました。日頃、仏壇に向かって、「年末ジャンボが当たりますように…」などをお願いしていた自分が恥ずかしくなりました。

「先憂後楽」という格言がありますが、御先祖様はその考えを、まさに生き方そのもので体現しておられた、ということ、時を越えて教えられました。

この「先憂後楽」という言葉、平成19年7月号の月刊「家」のこのページに、「会長をお受けして」というタイトルで、私が書き記しておりました。

「先憂後楽」の理念を心に据えて、会長として努力してまいりたい、と…。

その決意通り、努力だけは続けてきたつもりですが、評価は皆様のお心にお任せいたします。

昨年、滋賀県建築士会は昭和26年11月の設立より70年の節目を迎えることができました。

歴代役員、会員の皆様が、「建築士」という職業に誇りを持ち、まだまだ法令や制度が整わない中、まさに「先憂後楽」の思いで、建築士の社会的地位の確立と技術の向上、そして後進の育成に力を尽くしてくださったお陰と、改めて感謝する次第であります。

そして、我々はその諸先輩方の築き上げてくださった歴史に目を向け、よき伝統と建築士としての高い志を受け継ぎ、現代の多様化するニーズに応じた発展を続けていかねばならないと、感じ入った次第であります。

さて、話は大きく飛躍しますが、近頃、日本は不思議な国だと思つづく感じています。

なぜかといえば、世界中で自分の国の美化を図って、歴史を改ざんする国は少なからず存在しますが、他国の干渉や圧力に屈して歴史を歪め、改ざんさせられている国は、日本だけだと思うからです。

今もなお、一言一句に至るまで干渉され、それに唯々諸々と従っているのですから、不思議な国だと言えます。

日本人でありながら、他国の干渉をそのまま受け入れて、自分の母国をけなすことが、あたかも正論であるかのように主張する学者やマスコミがあり、政治家の中にまでいることは嘆かわしいことです。

しかも、このような主義を唱える者は、母国をおとしめる意見が、いかにも進歩的な思想であるかのように吹聴するので、始末に負えません。

このようなごく一部の者の意見によって歪められ、改ざんされた歴史を、教育という大事な場を通して国民に浸透させてきました。

その結果、誤った歴史を正しいと信じているのは、世界の中で日本人だけとなりました。

そして、日本人は非人道的で残虐な民族であるという、国際的なレッテルを貼られつつあり、日本人でさえ、そう思い込むように教えられてきました。これは実に恐るべきことです。

戦後75年以上もの間、この誤った歴史が親から子へ、先生から生徒へと語り継がれ、やがてすべての国民が誤った歴史認識に染められてしまうのでは、と危惧しております。

私、一個人としては未熟者ですから、誹謗や中傷されても仕方ありませんが、国家が誤解を受けたり、はづかしめられたりすることには耐えられません。それは先祖や子孫に申し訳ないことであり、後世になって取り返しのつかないことになってしまうのでは、と考えるからです。

日本人に備わっている『奥ゆかしくて争いを好まない』という特性は、実に美しく、世界に誇れる民族性であります。

しかし、国家がはずかしめられるという重大事に直面している今、「ハイ、そうですね。」と譲り続けてはいけません。今、周辺国の陰謀によって悪化しつつある国際的評価に、正しい主張をしていかなければ、と強く感じております。

いま・ここ・自分の都合だけでなく、遠い将来に思いを馳せ、次代を生きる日本人の在り方^{おもんばか}を慮る。そういう父祖の営みがあることによって、私達はこの時代の繁栄を生きていることを知らなければなりません。

小泉信三先生（元慶応義塾大学塾長）にこんな言葉があります。

『日本の国土は自然によって与えられたものではない。長い年月の間に我々の祖先が手を加え、造り上げ、我々に伝えてきたものである。

土地の開墾、耕作、道路、橋、ダム、港湾、そして寺社仏閣に至るまで、景観にしても…
有形のものばかりではない。

宗教、道徳、制度、風俗、学問、芸術、その総てを含む日本の文化。

これこそ我々が祖先から受け継いで子孫に伝える最も大切なものである。』

今、私たちの住む世界は、父祖たちの想いの表れなのであります。

よき家族の家には、よき家風が生まれ、そんなよき家庭の集まりから、よき土地柄、風土が生まれ、そのよき土地柄が集まって、「国柄」「国民性」が創られていくと言います。

これは、組織も同じで、志を同じくする者が相集い、そこから、よき知恵、よき文化、よき人間関係が創られていく。

そして、建築の仕事を生業とする私達は、心地のいい空間づくり、暮らしやすい街づくりを通じて、地域づくり、国づくりの一端に携わることができます。

私一人の力は本当に微力ですが、それでも、建築士会の活動に勤しむことは、ひいては、この日本をよりよき国家とする国づくりにも繋がっていると信じています。

「国難」とも言われるこのコロナ禍、「難儀」な状況が続き、そんな中だからこそ、皆が日々、士会運営のあり方を考え、知恵を絞り、汗をかき、議論を重ね、日々の生活に真摯に向き合い、皆が支え合っていく社会をつくり上げていかなければなりません。

「国難」「困難」「難儀」「難題」…と、難しいと書く「難」だらけの状況ですが、「難」が「有る」と書いて、「有難い」とも読みます。

「難有り」な状況も、ひっくり返せば、「有難い」となります。

「難なき人生は 無難な人生 難有る人生は 有難き人生」

以前、どこかのお寺の掲示板に書かれていた言葉ですが、今やっと、その言葉の本質が理解できたように思います。

このコロナ禍は「難有り」ですが、いわゆる改革や進歩は、いつも、困りごと、つまり「難」を克服するチャレンジやアイデアから生まれてきた訳です。

2年前、2020年1月の新聞によると、

「中国・武漢へ政府チャーター機を派遣 一邦人帰国を支援」とあります。

この時は、「中国では厄介な病気が流行ってるんやな。」と、軽く読み流しておりました。

新型コロナウイルスという見えない敵が、海の向こうから、ひたひたと迫ってきていることなど思いもよらず…。

コロナによって、多くの活動の機会や、交流の楽しみも失われましたが、それで終わらせるのではなく、あの2020～21年は「何かを学び取った月日であった」、と言える様、心静かにこの2年間を振り返りたいと思います。そして、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、web会議、テレワークなど、知恵を駆使して、志を同じくする建築士の仲間と心を繋ぎ、新たな時代を見据え、こんな時こそ組織の力を高め合っていきたいものであります。

今年こそ、今年こそは穏やかな一年になりますように、と祈るような思いで迎えた令和4年。

本年は、滋賀県建築士会が公益社団法人となった平成24年（2012年）より、10年目の節目の年となります。

コロナ禍という大きな社会の変容を経て、これからの時代に一層求められる建築士会として共に発展していけるよう、慎重に、かつ力強く歩み出す一年にしたいものであります。

会員皆様のお健やかな毎日と、みのり多き一年となりますことを祈念し、本年も滋賀県建築士会へのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げまして、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

歴史ある坂本の町並みを、考古学研究者であり、元大津市歴史博物館副館長の吉水眞彦氏の解説でご案内いたします。日吉大社では一般公開されていない東本宮下殿へ、そして日吉東照宮、作り道に面した町家 石川家（大文字屋）を見学します。興味深いお話しをお聞きできるチャンスです。ぜひご参加下さい！



吉水 眞彦 氏
考古学研究者
元大津市歴史博物館副館長



日吉東照宮

開催日時：令和4年2月26日(土)

12:45～集合：京阪坂本比叡山口駅前

13:00～16:00 町歩き・建物見学

見学場所：日吉大社 東本宮下殿、日吉東照宮、石川家（大文字屋）、坂本の町並み

定 員：20名（先着順）

参加費：会員 1,000円 会員外 1,500円

申込締切日：令和4年2月10日(木)

CPD単位：3単位予定

※お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。



※集合場所の京阪坂本比叡山口駅前には、青い旗を持った建築士会スタッフがおります。雨や雪の場合は、見学先に変更が生じます。荒天又は、新型コロナウイルス感染拡大により中止となる場合があります。

当日の連絡先：担当者携帯（小川）090-5164-8786
（平井）080-6185-2060

協力：滋賀県建築士会 大津地域会

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申し込み頂けます。

女性委員会

女性委員会主催
全員会議 開催のご案内

令和3年度女性委員会主催全員会議を「魅力ある女性委員会活動を計画・実施することで会員増強に努めること」を目的として開催致します。

今年度は新しい試みとして、対面とWEBの併用で開催致します。性別、年代に関わらず会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時：令和4年1月22日(土)

13:30～ Zoom入室可 終了予定15:00

開催場所：滋賀県立男女共同参画センターG-NETしが

（滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4）

駐車場有、近江八幡駅南口より徒歩10分

申込締切：令和4年1月11日

申込方法：(公社) 滋賀県建築士会事務局

TEL 077-522-1615

お申込み頂いた方には、後日、参加URLなどをお送りいたします。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、WEB会議のみとなる場合がございます。

まちづくり委員会

第13回「未来の家」
「未来のまち」子ども立体作品展・
第15回「建築士」
フェスティバル開催のお知らせ

毎年、県内公立幼稚園の方々、各関係者の皆様に協力いただき、ご好評いただいている「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展は今年度も第13回を開催いたします。

開催日時：令和4年2月19日(土)～20日(日)

午前10:00から午後5:00まで

開催場所：イオンモール草津

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止あるいは変更の可能性があります。

女性委員会 Doシリーズ No.83 考古学研究者と宗教都市坂本の町を歩く 参加申込用紙

氏 名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス	携帯電話	● 会 員 ● 非会員
	FAX番号	地区 名	
CPD番号			

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

まちづくり委員会

「けんせつフェスタしが」事業報告

令和3年11月6日(土)、天気予報通りの青空が広がり、3,000人の方が来場され、大変賑々しい一日となりました。建築士会ブースでは、新型コロナウイルス感染対策を万全に「黒ひげ危機一髪」で遊んでいただきました。小さなお子様は怖がられるシーンもありましたが、相反して何度も列に並んでおられるお子様もいらっしゃいました。午前10時開催から午前中には大当たり商品が無くなり、午後2時には配布できる商品が無くなり、この点は反省すべきではありましたが、好評であったことを意味していると考えれば、成功と申し上げて良いのではないかと思います。新型コロナウイルスが収束していけば催しとして新しいものも提案できるのでないかと思っております。毎年住宅相談コーナーも設けさせていただいておりますが、気楽に座っていただけるブースとして模様替えすべきなのかと感じました。スタッフ総勢10名にお手伝いいただき、大きな怪我やトラブルもなく無事フェスタを終えることができました。また早朝よりご協力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



黒ひげ危機一髪



多くの方にご来場いただきました

第63回建築士会全国大会「広島大会」報告

令和3年11月20日(土)、コロナ禍で延期となっていた第63回全国大会「広島大会」が開催されました。ハイブリッド方式での開催とし、東京会場の様子がLIVEで配信されました。午前中に開催された各委員会セッションはWEB開催とし、従来開催を凌ぐ充実したセッションとなりました。午後には「解剖学者と建築探偵からの“遺言”」と題して、養老孟司氏と藤森照信氏による記念対談がありました。大会式典では当会山本会長（連合会副会長）が大会アピールを宣言されました。また、表彰式では、菊川太嗣氏（彦根地区）が、連合会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。次回は第64回秋田大会となります。



大会アピール宣言する
山本会長



連合会会長表彰受賞の
菊川太嗣氏

女性委員会

DoシリーズNo.82 ～素を知る～ 『信楽生コン(株)工場見学 生コンクリートができるまで』事業報告

令和3年12月4日(土)に、信楽生コン株式会社にて工場見学を行いました。会員12名、会員外から1名、小学生5名計18名の方にご参加いただきました。

工場見学に先立ち、ペーパーウェイト作りのワークショップを行いました。実際にセメントを練り、シリコンの型に流して、コンクリートの性質を知る体験をしました。次に、昨年11月に竣工した工場の見学を行いました。日本最大のタヌキの絵が目を引く新プラントでは、安定した生コン製造をするため、供給スピードの向上・徹底した品質管理・メンテナンス性向上の工夫などの最新設備について学びました。その後、試験棟に移動し、コンクリートの中性化やテストピースの圧縮試験を見学しました。この新プラントは、ルート・階段の幅・手摺の設置・案内看板の掲示など工場見学を想定して設計されており、とても安全に見学する事ができました。最後に、固まったペーパーウェイトにニス塗り、完成品を持ち帰りました。

今回、大きなトラックから砂や碎石が運び込まれる様子、セメントサイロの屋上に立った高さ、圧縮試験の音など、小学生のみならず、大人も普段できない体験に大興奮でした。時間が足りないくらい見どころ満載の内容となり、非常に有意義な時間を過ごせたと思います。



集合写真

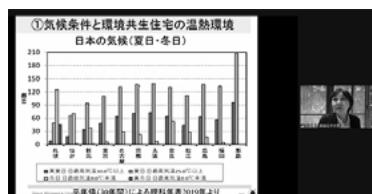


プラント工場の説明を熱心に聞く

近畿建築士会協議会女性部会(近建女) 第6回くらしとすまいをみつめる 継続セミナー 『すまいの温熱環境について学ぶ』 ～快適な温熱環境ってなんですか？～ 報告

令和3年11月5日(金)、近建女主催、Zoomによるオンライン講習会を開催しました。奈良女子大学研究員工学系所属 久保博子教授を講師に迎え、大学構内からご講義頂きました。開始時間が18時、オンライン参加の容易さもあって41名の参加となりました。一般住宅での居住環境と生活の実態を調査し、温熱環境による健康被害の実態と重ねて、データーを解析して導かれた快適な温熱環境の考察は、私たちの実務に直結する内容で興味深いものでした。

講演後質疑の時間を設けましたが、対面講義と違って双方向発信でないことから、参加者（視聴者）の意見・感想や満足度を講義後アンケートで回答頂きました。オンラインを活用して、活発な近建女活動を実施していければと思います。



久保博子教授によるオンライン講習

青年委員会 交流拡大事業

伊吹山登山事業報告

令和3年10月24日(日)伊吹山にて交流拡大事業として伊吹山登山を行いました。

非常事態宣言の発令により、当初より募集させていただいていた日程を変更させていただいたにもかかわらず建築士会会員外の方3名を含む16名の方にご参加いただきました。

当日はさわやかな秋晴れに恵まれ、絶好の登山日和となりました。道中、数名のリタイヤ者が出たものの大きな事故もなく気持ちよく下山することができました。

滋賀の最高峰伊吹山の山頂からの景色は素晴らしく、また、密を避けた屋外での活動により一緒に登山した仲間の交流も深められ大変充実した一日となりました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。
青年委員会 尾崎孝祐



山頂にて集合写真



会話を楽しみながらの下山

青年委員会

近建青滋賀会議 開催報告

11月13日(土)、近畿建築士会協議会青年部会第4回定例会議滋賀会議が、近江金田教会(近江八幡市)で開催されました。今回もWeb併用のハイブリッド会議となり、滋賀県からはオブザーバー含め8名が参加、開催県役員として山本会長、木下常務理事にもご臨席賜りました。

令和4年1月29日開催の「近畿建築祭兵庫大会」で近畿あーきてくとVol.29を担う地域委員会、また2月12日に松原市で開催される近建青事業「Beyond the hedge～領域を超えた建築行為～」を担当する研修委員会と情報委員会、それぞれの議案に対し妥協のない議論がなされ、事業の成功に向かう有意義な会議となりました。

是非皆さまも、これらの事業にご参加いただき、近建青を感じてください。



定例会議

青年委員会 研修拡大事業

岐阜建築バスツアー報告

令和3年10月27日(水)研修拡大事業「岐阜建築バスツアー」を開催し、多くの方に参加していただきました。

午前は北方町庁舎・ハイツ北方を見学、昼食では岐阜県建築士会の横井会長、神山副会長様をはじめとした6名の方と交流し、青年委員会活動のPRも出来ました。午後の岐阜市役所庁舎の見学では職員の方に案内していただき、普段見ることはできない機械室の中や議場なども見ることができ充実した時間でした。ぎふメディアコスモスでは使用者に寄り添った工夫が細部になされており、2Fの天井木部組物は映像では感じることでできない迫力ある造形が印象的でした。

緊急事態宣言が解除され、滋賀県・岐阜県ともに感染者数はかなり減少していた中での開催であり、移動のバスは大きさに余裕のある車両を用意、昼食会場も100名ほど収容できる会場を利用するなどソーシャルディスタンスに心がけ、感染対策を十分考慮した上で事業を行えたのではと思っております。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。
青年委員 小島 康寛(湖東地区)



岡村委員長による
青年委員会活動PR



岐阜県建築士会 会長 横井氏
ご挨拶



ぎふメディアコスモスでの
見学



岐阜市役所庁舎を背景に
メディアコスモスのテラスで集合写真

青年委員会

滋賀青年アーカイブス公開しました

コロナ禍の中でこそできることとして、これまでの青年部・青年委員会でも実施されてきた事業の様々な情報をアーカイブとしてまとめ、本会HPにて公開しました。情報ご提供いただきました先輩諸兄姉にはこの場をお借りしまして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後の事業構築の参考に、大いに活用されることを望みます。



QRコード



トップページ

令和3年7月12日、令和3年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞されました。

建築技術関係者として建築物の設計を39年に亘り従事し、技術の研鑽に努力されました。平成2年11月に本会に入会され、平成27年度からは山本良信副会長常務理事・令和元年からは副会長に就任され、会の健全な運営に尽力されています。

また、現在、高島市景観審議会委員・高島市重要な文化的景観整備活用委員会副会長・高島市文化振興推進審議会委員の公職を受けて、地方公共団体の建築物に関する意見具申・提言を行うことにより、県民のより快適な住環境整備や街づくりを担ってられます。氏の祖父が植樹された「海津大崎の桜」を、美しいマキノ・桜守の会に所属して、清掃・維持管理等の社会貢献活動にも尽力されています。多年、建築設計監理業に精励するとともに、関係団体の役員として地方業界の発展に貢献されました。

その功績が認められ、受賞されました。誠におめでとうございます！ますますのご活躍を祈念致します。



山本良信副会長

地区だより

高島地区

令和3年度 研修旅行「アートと建築の島 直島」

11月26日(金)～27日(土)、瀬戸内海に浮かぶ直島へ研修に行ってきました。岡山県宇野港を出港し、「赤かぼちゃ」に出迎えられ到着。まず、三分一博志氏設計の直島ホールを見学しました。総ヒノキ葺きの大屋根に目を奪われ、内部は漆喰が塗られた白い曲線空間に自然光が差し込み、アート作品のようでした。島を移動中、シンボルの「黄色いかぼちゃ」は、今年8月の台風で流されたままで見ることができませんでした。宿泊場所である安藤忠雄氏設計のベネッセハウスパークは、館内・屋外にアートが点在し、多くのアートに触れることができました。部屋からは瀬戸内海を正面に望み、夕方～夜へ移り行く美しい景色をゆったりと眺めて過ごすのは至福の時間でした。夕食後、ベネッセミュージアムを見学。夜の美術館は昼間とはまた違う雰囲気があり素敵な空間でした。

2日目は、地中美術館の見学と家プロジェクトの自由散策。地中美術館は瀬戸内海の美しい景観を損なわないようにと建物の大半が地下に埋設されているのですが、地下にいるとは思えないほど自然光が降り注ぎ、見上げると真っ青な空とコンクリートのコントラストが美しかったです。2日間とも天候に恵まれ気候も良く、たくさんの建築とアートを体感しとても有意義な研修となりました。



三分一博志氏設計 直島ホール内部



草間彌生 赤かぼちゃをバックに

地区だより

湖北地区

令和3年度 第1回勉強会 「改正省エネ法制度と評価方法について」報告

11月12日(金)、長浜市役所1階多目的ルームにて令和3年4月に改正されました省エネ法の制度概要、適合義務、届出義務について、省エネルギー基準の評価方法について、一般社団法人滋賀県住宅センター様をお招きしてご説明頂きました。

30名近い申し込みがあり、関心の深さと、スキルアップに対する意欲を感じました。

今回施行された中で住宅では従来の計算ルートとモデル住宅法の評価と計算方法、非住宅建築物においては標準入力法とモデル建物法評価方法の概要、計算方法について、例を挙げながら詳しく教えて頂きました。参加された方の中には「とても勉強になりました」「実務の効率アップになります」とのお声を頂きました。

建築に関する法の改正に我々建築士はいち早く対応していかなければなりません。引き続き、建築に携わる人達の役に立つ勉強会を開催していきたいと思っております。

最後にご協力頂きました関係者様各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。



住宅センター長谷川氏



真剣な参加者

親睦交流事業ゴルフコンペ大会

令和3年12月1日(水)彦根カントリー倶楽部にて毎年恒例になっています湖北地域会・同賛助会・長浜建築施工管理技士会合同の親睦交流事業ゴルフコンペ及び親睦会を開催させて頂きました。お天気が心配でしたが、冬らしい気候の中時折晴れ間もみえ、問題なく開催する事ができました。ゴルフ大会では上手・下手関係なく皆さん、たいへん笑顔でプレイされていたのが印象的でした。

しばらくコロナ感染者0の日が続いていましたので、プレイ後は長浜のグランパレー京岩にて親睦会・成績発表会をしました。コロナ対策も十分な広い会場では、マスクをしながらも久しぶりに楽しい時間をすごしました。ブービーとブービーメーカーを間違えるハプニングもありながら、参加者の皆様から「楽しかった」とのお言葉もいただき、親睦交流事業としてとても良い一日でした。各地域会様にもご参加を頂き、ありがとうございました。

また来年も企画し、建築士の仲間と語り合える親睦の場になればと考えています。



集合写真



アクリル板越しに会話

甲賀地区

第4回 甲賀ゴルフコンペ大会開催報告

11月30日(火)、第4回甲賀ゴルフコンペ大会を、近江カントリー倶楽部をお借りして開催しました。昨年はコロナの影響で中止しましたが、今年は何とか開催することができました。平日にも関わらず県内各地よりご参加いただき、この誌面をお借りして御礼申し上げます。数日前までは雨の予報でしたが、当日は比較的暖かい晴れた一日となりました。参加者は17名と小ぶりなコンペとなりましたが、日頃の練習の成果を思う存分に発揮していただきました。緊急事態宣言は解除になったものの、まだまだ注意が必要な時期であり、パーティー&表彰式ができなかったことが残念ではありますが、その分、賞品を充実させていただき、全員に甲賀ゴルフ恒例の「近江牛」をお持ち帰りいただきました。少なからず喜んでいただけたことと思います。

来年も開催を予定しておりますので、是非ともふるってご参加ください。



スタート前集合写真

◆成績は下記の通りです。
(敬称略)

優勝：土野池 正義
(湖南地域会)

準優勝：藤木 智英
(甲賀地域会)

第3位：杉村 嘉実
(湖東地域会)



栄えある優勝者

令和3年度に総合資格より
ご入会頂いた皆様へ

入会時よりご案内しています通り、入会2年目からの会費は個人負担となり、事前にご連絡が無い場合は自動継続となります。

会員の継続をご希望されない場合は**令和4年3月15日(火)までに滋賀県建築士会事務局へご連絡ください。**

地区別会員数 令和3年12月1日現在

支部	10月	12月	差引
大津	188	189	1
湖南	144	143	▲1
甲賀	70	70	0
湖東	101	100	▲1
彦根	80	81	1
湖北	132	131	▲1
高島	58	58	0
湖西滋賀	22	22	0
計	795	794	▲1

情報広報委員会



2022年度
フォトコンテスト作品募集



会員のみなさまの自慢の作品を
お待ちしております。

1月の暦

1 土	先負	元旦	17 月	友引	
2 日	仏滅		18 火	先負	青年委員会 研修拡大事業「灯りをつくる人灯りをとる人」(奈良県)
3 月	赤口		19 水	仏滅	
4 火	先勝	仕事始め	20 木	大安	定期講習 (滋賀県建設会館)
5 水	友引		21 金	赤口	
6 木	先負		22 土	先勝	女性委員会 全会議 (近江八幡市)
7 金	仏滅	合同年賀会	23 日	友引	
8 土	大安		24 月	先負	
9 日	赤口		25 火	仏滅	
10 月	先勝	成人の日	26 水	大安	
11 火	友引	青年委員会	27 木	赤口	
12 水	先負	四役会・四役委員長・地区委員長会議・情報広報委員会	28 金	先勝	既存住宅状況調査技術者講習 更新講習 (滋賀県建設会館)
13 木	仏滅		29 土	友引	近畿建築祭「兵庫大会(姫路)」
14 金	大安		30 日	先負	
15 土	赤口		31 月	仏滅	
16 日	先勝				

2月の暦

1 火	先勝		16 水	仏滅	定期講習 (滋賀県建設会館)
2 水	友引		17 木	大安	
3 木	先負		18 金	赤口	
4 金	仏滅		19 土	先勝	立体作品展・建築士フェスティバル フォトコンテスト (イオンモール草津)
5 土	大安		20 日	友引	立体作品展 表彰式・建築士フェスティバル フォトコンテスト (イオンモール草津)
6 日	赤口		21 月	先負	
7 月	先勝		22 火	仏滅	既存住宅状況調査技術者講習 新規講習 (滋賀県建設会館)
8 火	友引		23 水	大安	天皇誕生日
9 水	先負	四役会・理事会	24 木	赤口	
10 木	仏滅		25 金	先勝	
11 金	大安	建国記念の日	26 土	友引	DoシリーズNo.83 ~滋賀を知る~ 考古学研究者と宗教都市坂本の町を歩く
12 土	赤口	近建青研修・情報事業「Beyond the hedge~領域を超えた建築行為~」(松原文化会館)	27 日	先負	
13 日	先勝		28 月	仏滅	
14 月	友引				
15 火	先負				

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止・変更等となる場合がございます。

白鬚神社

近江最古の大社。古くから延命長寿白鬚の神として広く崇敬されてきた。2015年4月、「びわ湖とその水辺景観一祈りと暮らしの水遺産」の構成文化財として日本遺産に認定される。

